「住まい方の意識トレンド調査」

2019年3月

（公社）全国宅地建物取引業協会連合会
（公社）全国宅地建物取引業保証協会

≪目次≫

■調査実施概要　３Ｐ

■調査結果概略　４Ｐ

■調査結果

Ｑ１．あなたのお住まいの環境で、最も重視するものは何ですか。　９Ｐ
Ｑ２．あなたは将来、都市部と地方のどちらに住みたいですか。　１０Ｐ
Ｑ３．平日は都市部、週末は地方で暮らすスタイルの二地域居住（週末移住）についてどう思いますか。　１１Ｐ
Ｑ４．将来地方に住むとしたら、あなたはどれに該当しますか。　１２Ｐ
Ｑ５．「田園回帰」について、どう思いますか。　１３Ｐ
Ｑ６．住宅売買または賃貸の際に、実際にリノベーションに関する検討をしたことがありますか。　１４Ｐ
Ｑ７．住居を選ぶ際にリノベーション済みの戸建てやマンション、アパートへの抵抗はありますか。　１５Ｐ
Ｑ８．空き家問題についてどう思いますか。　１６Ｐ
Ｑ９．「空き家バンク」をご存知ですか。　１７Ｐ
Ｑ１０．「空き家バンク」について、どのように思いますか。　１８Ｐ
Ｑ１１．「空き家バンク」について、将来住まいとして検討したいと思いますか。　１９Ｐ
Ｑ１２．既存住宅売買の際のインスペクションが注目されています。インスペクションによって、どのような効果があると思いますか。　２０Ｐ
Ｑ１３．今後インスペクションを利用する可能性はありますか。　２１Ｐ
Ｑ１４．2018年4月にスタートした「安心R住宅」制度の導入により、どのような効果があると思いますか。最も効果があると思うものをお選びください。　２２Ｐ
Ｑ１５．もし既存住宅を購入するとしたら「安心R住宅」表記の物件を選びたいと思いますか。　２３Ｐ
Ｑ１６．長期優良住宅化リフォーム減税を知っていますか　２４Ｐ
Ｑ１７．IoT住宅において、どのような仕組みやジャンルに魅力を感じますか。　２５Ｐ
Ｑ１８．IoT住宅は、何年後主流になると思いますか。　２６Ｐ
Ｑ１９．安全な不動産取引ができるお店の証、ハトマークを知っていますか。　２７Ｐ

≪調査実施概要≫

■調査期間：2019年1月24日（木）～1月28日（月）

■調査方法：インターネットによるアンケート調査

■調査対象：日本国内に居住する20歳以上の男女

■有効回答者数：2,400件

■回答者内訳

◆性別／年代（人）

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	2400	183	344	565	622	461	225
男性	1418	53	132	312	408	340	173
女性	982	130	212	253	214	121	52

◆職業（人）

	全体	正社員	派遣 契約社員	アルバイト パート	専業主婦 主夫	学生	無職	その他
全体	2400	946	127	241	394	51	436	205
男性	1418	713	75	75	7	15	366	167
女性	982	233	52	166	387	36	70	38

◆地域ブロック／県（人）

		北海道
北海道	121	121

		青森県	岩手	宮城県	秋田県	山形県	福島県
東北	157	24	26	46	16	23	22

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
関東	963	59	24	22	144	124	400	190

		新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
中部	411	51	10	15	11	12	27	44	60	155	26

		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
近畿	427	30	55	195	106	29	12

		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
中国	113	10	3	31	49	20

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県
四国	50	13	17	17	3

		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
九州・沖縄	158	90	8	10	14	9	4	16	7

◆　現在のあなたの居住区分（人）

		全体	一人暮らし	夫婦と子供	夫婦のみ	3世帯以上
全　体		2400	600	600	600	600
性別	男性	1418	406	339	352	321
	女性	982	194	261	248	279
年代	20代	183	39	32	15	97
	30代	344	81	110	51	102
	40代	565	155	181	87	142
	50代	622	163	170	127	162
	60代	461	119	80	191	71
	70代以上	225	43	27	129	26

Q1　あなたのお住まいの環境で、最も重視するものは何ですか。（１つ選択）

「買い物施設や病院など利便施設の充実」が38.5％と最も多く挙げられた。次いで回答の多かった「通勤のしやすさ」と「治安」に比べて倍以上のスコアであることから、生活のしやすさが最も求められていることがわかった。

TOP3

全体	買い物施設や病院など利便施設の充実	通勤のしやすさ	治安
2400	38.5%	18.8%	17.1%

Q2　あなたは将来、都市部と地方のどちらに住みたいですか。（１つ選択）

「都市部」が59.0％、「地方」が41.0％とやや都市部が地方を上回る結果となった。
性別による差異は見られなかったが、年代別では20代、居住区分別では3世帯以上の2つの属性で「地方」が「都市部」を上回った。

全体	都市部	地方
2400	59.0%	41.0%

※Q2で都市部と答えた方のみ

Q3　平日は都市部、週末は地方で暮らすスタイルの二地域居住（週末移住）についてどう思いますか。（１つ選択）

「都市部に住み続けたい」が39.9％と最も多くなっているが、二地域居住については関心が高いようで、約6割が「やりたい」あるいは「興味はある」と回答している。特に20代の関心が高く、「可能ならやりたい」、「是非やりたい」の割合が他の年代と比べて高かった。

全体	都市部に住み続けたい	興味はあるが、困難だと思う	可能ならやりたい	是非やりたい	その他
1415	39.9%	35.2%	18.4%	5.5%	1.0%

※Q2で地方と答えた方のみ

Q4　将来地方に住むとしたら、あなたはどれに該当しますか。（１つ選択）

「現在も地方暮らしで、ずっと住み続けたい」が61.4％と最も多く挙げられ、地元志向が強い結果となった。一方で、若い年代ほど定住志向の傾向は薄く、性別では女性のほうが「別の地方への興味」がうかがえる結果となった。

全体	現在も地方暮らしでずっと住み続けたい	現在も地方だけど、別の地方に移住したい	Uターン	Iターン
985	61.4%	15.8%	12.8%	9.9%

※Q2で地方と答えた方のみ

Q5　「田園回帰」について、どう思いますか。当てはまるものを3つまでお選びください。（３つまで選択可）

「仕事や収入などの課題解決の施策が必要」が44.0％と最も多く挙げられ、生活を維持していくための経済面の諸条件を整えることが必要だという事が分かった。

TOP3

全体	仕事や収入などの課題解決の施策が必要	興味がない	地方創生のために、推進していくべきだと思う
985	44.0%	33.5%	24.0%

Q6　住宅売買または賃貸の際に、実際にリノベーションに関する検討をしたことがありますか。（１つ選択）

「ある」と答えたのは9.2％と1割に満たなかったが、約四分の一にあたる25.1％が「ないけど興味はある」と回答。半数以上は「ない」あるいは「興味がない」と回答しており、まだまだ普及はしていない現状。

全体	ある	ない	ないけど興味がある	興味がない
2400	9.2%	30.8%	25.1%	34.9%

Q7　住居を選ぶ際にリノベーション済みの戸建てやマンション、アパートへの抵抗はありますか。（１つ選択）

「全く抵抗ない」が27.6％、「少し抵抗はあるが、検討できる」が35.7％と、あわせて半数以上がリノベーション済みの物件に対して前向きであることがわかった。年代別では特に20代が抵抗が少ない一方で、30代は「絶対に検討したくない」割合が16.6％と全年代で最も高かった。

全体	全く抵抗ない	少し抵抗はあるが、検討できる	できれば検討したくない	絶対に検討したくない
2400	27.6%	35.7%	22.3%	14.4%

Q8　空き家問題についてどう思いますか。当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

「賃貸や売却物件として活用して欲しい」が52.9％と最も多く挙げられ、次いで「取り壊して更地にし、土地活用して欲しい」が38.3％となっており、活用されることに前向きであり、期待が高いことが見受けられる。「企業などビジネスで活用して欲しい」は若い世代ほど高くなる傾向がみられた。

全体	賃貸や売却物件として活用して欲しい	取り壊して更地にし、土地活用して欲しい	店舗や民泊活用などで地域の活性化に役立てて欲しい	企業などビジネスで活用して欲しい	その他
2400	52.9%	38.3%	34.9%	24.3%	1.5%

Q 9　「空き家バンク」をご存知ですか。（１つ選択）

「知っている」と答えたのは11.9％にとどまり、まだ理解がされていない現状がある。
「知っている」と答えた20代は15.3％、30代は14.0％と他の年代よりも割合が高い結果となった。

全体	知っている	聞いたことあるが、詳しく知らない	名前だけ聞いたことがある	知らない
2400	11.9%	25.3%	19.9%	42.9%

Q 10　「空き家バンク」について、どのように思いますか。最もあてはまるものをお選びください。（１つ選択）

「もっと情報発信して欲しい」が32.5％と最も多く挙げられ、次いで「もっとメリットを充実させて欲しい」が31.7％となっている。「空き家バンク」の認知度が低い一方で、空き家問題に対する課題意識が高いことがうかがえる。

全体	もっと情報発信して欲しい	もっとメリットを充実させて欲しい	不動産業者が関与して、安心できる物件を登録して欲しい	登録物件を増やして欲しい	その他
2400	32.5%	31.7%	25.0%	8.2%	2.6%

Q 11「空き家バンク」について、将来住まいとして検討したいと思いますか。（１つ選択）

「是非検討したい」と答えたのは5.5％にとどまり、「検討してもよい」と答えたのは24.8％。あわせて全体の約3割が前向きな回答となった。「是非検討したい」、「検討しても良い」と答えているのは若い世代ほど高い傾向。「検討しない」は年代があがるにつれ割合が高くなっている。

全体	是非検討したい	検討しても良い	わからない	検討しない
2400	5.5%	24.8%	40.7%	29.0%

Q 12　既存住宅売買の際のインスペクションが注目されています。インスペクションによって、どのような効果があると思いますか。最も効果があると思うものをお選びください。（１つ選択）

「安心して住み続けるための診断ができる」が最も多く挙げられ、特に20代、70代以上では4割を超える結果となった。「リフォームの必要性や、規模を確認することができる」は年代が上がるにつれ高い傾向にあり、リフォームにあたっての具体的な検討に活用されやすいと思われる。

全体	安心して住み続けるための診断ができる	リフォームの必要性や、規模を確認することができる	安心して売買ができる	減税やローンなどの控除を受けることができる	その他
2400	33.7%	24.5%	23.0%	16.3%	2.5%

Q 13　今後インスペクションを利用する可能性はありますか。（１つ選択）

「是非したい」と回答したのは10.3％にとどまった。年代別では若い年代ほど前向きであり、年代が高いほど利用には後ろ向きであることがわかった。

全体	是非したい	利用しない	まだ分からない
2400	10.3%	28.4%	61.3%

Q 14　2018年4月にスタートした「安心R住宅」制度の導入により、どのような効果があると思いますか。最も効果があると思うものをお選びください。（１つ選択）

「基礎的な品質が保証され安心」が27.2％と最も多く挙げられ、次いで「安心して安く購入でき、将来の住み替えなど検討しやすい」が24.8％と、ともに安心材料となることがわかった。「リフォームによりきれいな中古物件が増える」が23.5％と期待もみてとれる。

全体	基礎的な品質が保証され安心	安心して安く購入でき、将来の住み替えなど検討しやすい	リフォームによりきれいな中古物件が増える	情報が開示され、検討しやすい	その他
2400	27.2%	24.8%	23.5%	21.9%	2.6%

Q 15　もし既存住宅を購入するとしたら「安心R住宅」表記の物件を選びたいと思いますか。（１つ選択）

「思う」と答えたのは37.8％と約4割にとどまった。年代が上がるにつれその傾向が強くなっている。
「どちらでも良い」が42.0％と最も多かった。まだ安心R住宅に対する理解が不足しているものと思われる。

全体	思う	思わない	どちらでも良い
2400	37.8%	20.2%	42.0%

Q 16　長期優良住宅化リフォーム減税を知っていますか。（１つ選択）

「知っている」と回答したのは7.7％にとどまり、制度自体の理解が不足している結果となった。
男女別では比較的男性の方が理解と興味関心が高い結果となった。

全体	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことはないが興味がある	聞いたことがない
2400	7.7%	19.0%	17.0%	56.3%

Q17　IoT住宅において、どのような仕組みやジャンルに魅力を感じますか。（複数選択可）

「防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ」は20代を除いて年代があがるにつれ、高くなっている。「スマートフォンやスマートスピーカーによる室内設備や家電の遠隔操作」は若い世代程高くなっている。

全体	防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ	太陽光発電や蓄電池などのエネルギーの制御やコントロール	玄関ドアや窓、シャッターの遠隔操作	スマートフォンやスマートスピーカーによる室内設備や家電の遠隔操作	宅配ボックスとの連動によるスマートフォンへの通知	センサーや音声認識による家電の自動制御	その他
2400	54.3%	36.5%	33.8%	32.0%	27.3%	24.3%	3.1%

Q18　IoT住宅は、何年後主流になると思いますか。（１つ選択）

「10年後」が34.3%と最も多く挙げられ、次いで「5年後」17.9%、「20年後」10.3%と続く。まだ主流になるのは早いとの見方が多数と見受けられる。

全体	3年後	5年後	10年後	20年後	それ以上	主流にならない
2400	5.1%	17.9%	34.3%	10.3%	6.5%	26.0%

Q19　安全な不動産取引ができるお店の証、ハトマークを知っていますか。（１つ選択）

「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」が24.8%と約四分の一。「見たことがあるが何のマークか知らない」が29.8%と合わせて半数以上はハトマークを認知している結果となった。

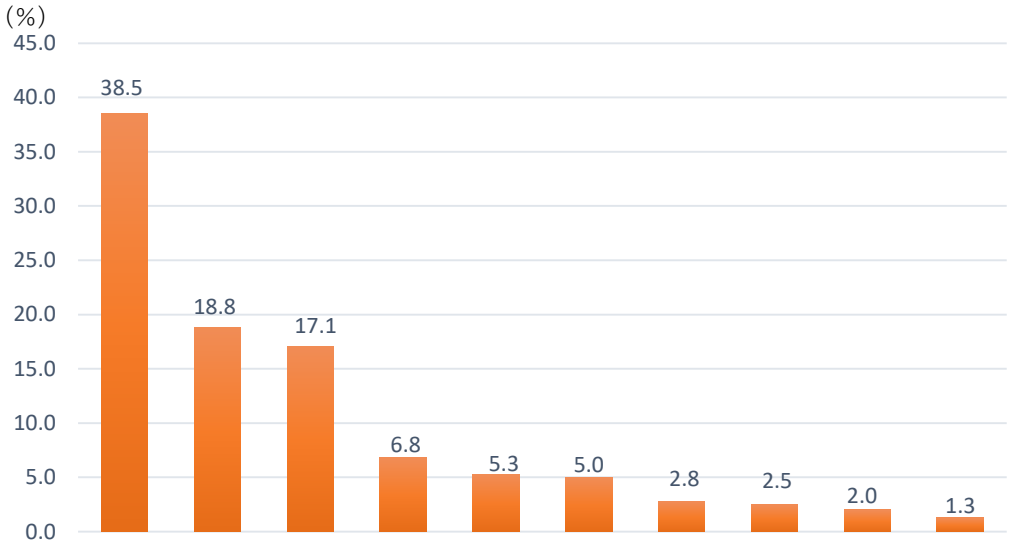
全体	見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている	見たことがあるが何のマークか知らない	見たことがないし何のマークか知らない
2400	24.8%	29.8%	45.4%

Q1　あなたのお住まいの環境で、最も重視するものは何ですか。（１つ選択）

■「買い物施設や病院など利便施設の充実」38.5％
■「通勤のしやすさ」18.8％／「治安」17.1％

◆　住環境で最も重視するものについて、「買い物施設や病院など利便施設の充実」が38.5％と最も多く挙げられ次いで「通勤のしやすさ」が18.8％、「治安」が17.1％となっている。
◆　「買い物施設や病院など利便施設の充実」は年代が上がるにつれ重視する傾向が強くなる。
◆　「通勤のしやすさ」は若い年代ほど強い傾向にあり、1人暮らしの居住者が他の居住形態と比べて特に重視している結果となった。

＜お住まいの環境で、最も重視するもの＞



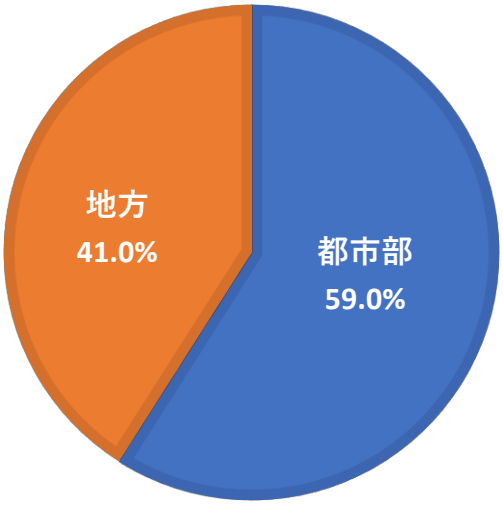
		全体	買い物施設や病院など利便施設の充実	通勤のしやすさ	治安	災害に対する安全性	家族や親戚との近居	公園や緑地などの自然環境	保育園など子育て環境	地域のコミュニケーション	学校等教育環境	その他
全　体		2400	38.5	18.8	17.1	6.8	5.3	5.0	2.8	2.5	2.0	1.3
性別	男性	1418	37.9	19.5	16.3	7.6	4.7	6.1	1.8	3.1	1.8	1.2
	女性	982	39.2	17.8	18.2	5.6	6.3	3.3	4.3	1.6	2.2	1.4
年代	20代	183	30.6	27.3	16.9	5.5	4.9	3.8	4.4	4.9	1.1	0.5
	30代	344	32.0	25.0	14.2	1.2	7.6	3.5	9.9	3.2	2.3	1.2
	40代	565	32.6	25.7	18.2	4.8	5.7	2.8	3.4	2.1	3.2	1.6
	50代	622	39.5	19.5	18.0	5.5	5.8	5.0	0.8	2.6	2.3	1.1
	60代	461	46.6	8.9	17.1	12.4	4.1	6.7	0.2	1.3	1.1	1.5
	70代以上	225	49.8	3.6	16.0	13.8	2.7	9.8	-	2.7	0.4	1.3
居住区分	一人暮らし	600	37.8	29.5	15.8	4.7	2.8	3.7	-	3.2	0.2	2.3
	夫婦と子供	600	38.5	16.2	16.7	6.0	6.2	5.0	5.3	1.2	4.7	0.3
	夫婦のみ	600	45.3	13.8	16.5	9.5	4.5	6.5	0.3	1.5	0.3	1.7
	3世帯以上	600	32.2	15.7	19.3	7.0	7.8	4.7	5.5	4.2	2.8	0.8

Q2　あなたは将来、都市部と地方のどちらに住みたいですか。（１つ選択）

■「都市部」が59.0％／「地方」41.0％
■20代と3世帯以上居住者のみ「地方」が多数派

◆　将来、都市部と地方のどちらに住みたいかについて、「都市部」が59.0％、「地方」が41.0％、とやや都市部が多い結果となった。
◆　性別による差異は見られなかったが、属性別にみると、20代が2.8ポイント、3世帯以上が18.6ポイント「地方」が「都市部」を上回った。

＜将来、都市部と地方のどちらに住みたいか＞



		全体	都市部	地方
全　体		2400	59.0	41.0
性別	男性	1418	58.7	41.3
	女性	982	59.3	40.7
年代	20代	183	48.6	51.4
	30代	344	51.5	48.5
	40代	565	60.2	39.8
	50代	622	62.2	37.8
	60代	461	61.2	38.8
	70代以上	225	62.2	37.8
居住区分	一人暮らし	600	67.8	32.2
	夫婦と子供	600	61.8	38.2
	夫婦のみ	600	65.5	34.5
	3世帯以上	600	40.7	59.3

※Q2で都市部と答えた方のみ

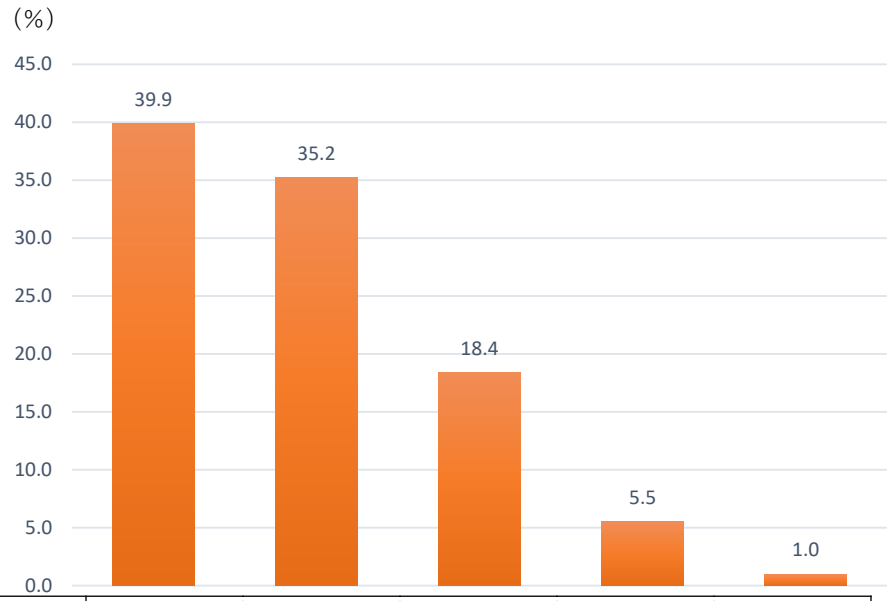
Q3　平日は都市部、週末は地方で暮らすスタイルの二地域居住（週末移住）についてどう思いますか。（１つ選択）

■「都市部に住み続けたい」39.9％
■「興味はあるが、困難だと思う」35.2％／「可能ならやりたい」18.4％

◆ 平日は都市部、週末は地方で暮らすスタイルの二地域居住（週末移住）について、「都市部に住み続けたい」が39.9％と最も多く挙げられ次いで「興味はあるが、困難だと思う」が35.2％、「可能ならやりたい」が18.4％となっている。

◆ Q2で将来的に都市部に住みたいと回答した中でも、二地域居住については関心が高いようで、約四分の一が「可能ならやりたい」、「是非やりたい」と回答している。特に20代の関心が高く、「可能ならやりたい」、「是非やりたい」の割合が他の年代と比べて高かった。

＜二地域居住（週末移住）についてどう思うか＞



		全体	都市部に住み続けたい	興味はあるが困難だと思う	可能ならやりたい	是非やりたい	その他
全　体		1415	39.9	35.2	18.4	5.5	1.0
性別	男性	833	35.3	37.1	20.0	6.5	1.1
	女性	582	46.4	32.5	16.2	4.1	0.9
年代	20代	89	23.6	36.0	29.2	11.2	-
	30代	177	44.6	30.5	15.3	7.3	2.3
	40代	340	40.9	33.5	18.2	6.8	0.6
	50代	387	38.0	37.0	18.9	4.9	1.3
	60代	282	41.8	36.2	16.7	4.3	1.1
	70代以上	140	42.9	37.9	18.6	0.7	-
居住区分	一人暮らし	407	44.7	33.9	17.4	3.2	0.7
	夫婦と子供	371	39.1	32.6	18.6	8.6	1.1
	夫婦のみ	393	41.2	38.7	16.3	2.5	1.3
	3世帯以上	244	30.7	35.7	23.4	9.4	0.8

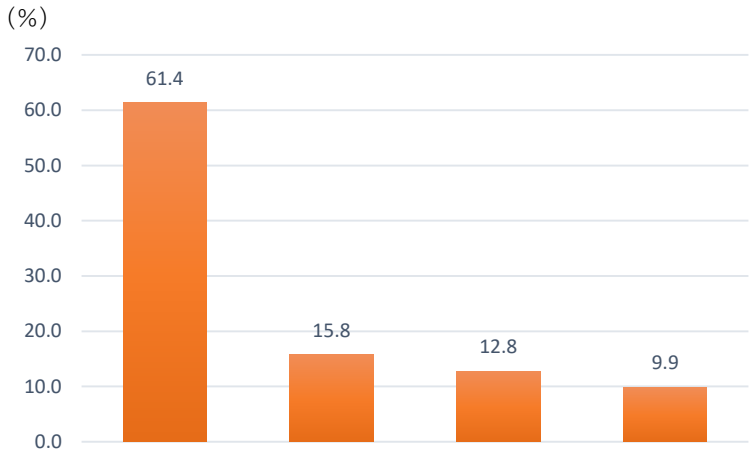
※Q2で地方と答えた方のみ

Q4　将来地方に住むとしたら、あなたはどれに該当しますか。（１つ選択）

■「現在も地方暮らしで、ずっと住み続けたい」が61.4％
■「現在も地方だけど、別の地方に移住したい」15.8％／「Uターン」12.8％

◆　「現在も地方暮らしで、ずっと住み続けたい」が61.4％と最も多く挙げられ、次いで「現在も地方だけど、別の地方に移住したい」が15.8％、「Uターン」が12.8％となった。
◆　若い年代ほど定住志向の傾向は薄く、性別では女性のほうが「別の地方への興味」がうかがえる結果となった。

＜将来地方に住むとしたらどうしたいか＞



		全体	現在も地方暮らしで、ずっと住み続けたい	現在も地方だけど、別の地方に移住したい	Uターン	Iターン
全　体		985	61.4	15.8	12.8	9.9
性別	男性	585	62.1	12.1	12.5	13.3
	女性	400	60.5	21.3	13.3	5.0
年代	20代	94	52.1	24.5	14.9	8.5
	30代	167	52.7	16.2	21.6	9.6
	40代	225	56.4	20.0	10.7	12.9
	50代	235	66.4	12.3	11.1	10.2
	60代	179	71.5	12.8	9.5	6.1
	70代以上	85	67.1	10.6	10.6	11.8
居住区分	一人暮らし	193	53.4	16.1	17.1	13.5
	夫婦と子供	229	59.4	13.5	14.0	13.1
	夫婦のみ	207	60.9	16.9	10.1	12.1
	3世帯以上	356	67.4	16.6	11.2	4.8

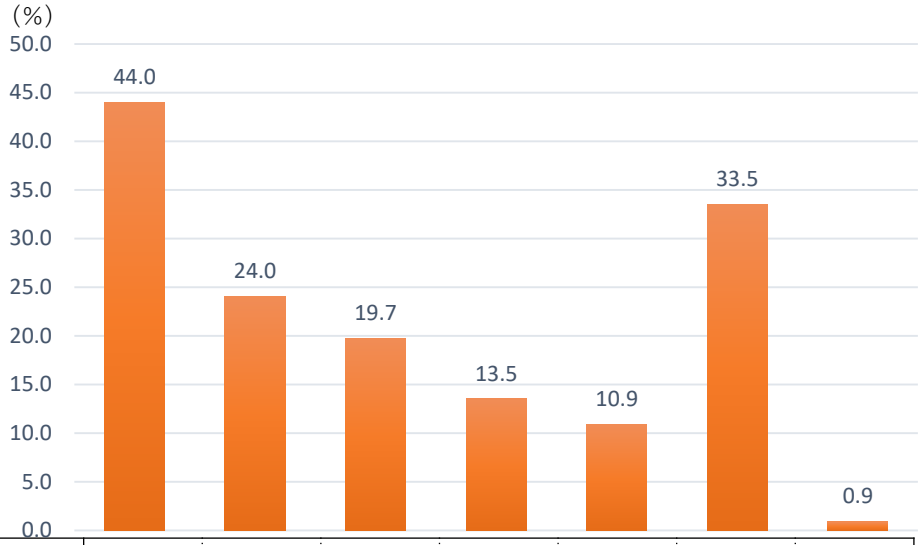
※Q2で地方と答えた方のみ

Q5　「田園回帰」について、どう思いますか。（３つまで選択可）

■「仕事や収入などの課題解決の施策が必要」が44.0%
■「地方創生のために、推進していくべきだと思う」24.0%

◆　「仕事や収入などの課題解決の施策が必要」が44.0%と最も多く挙げられ、生活を維持していくための経済面の課題が最も重要という結果となった。
◆　33.5%が「興味がない」と回答しているが、全体的には推進することに前向きであり、課題が解決されることで、田園回帰への流れができていく可能性があるように見受けられる。

＜「田園回帰」についての考え＞



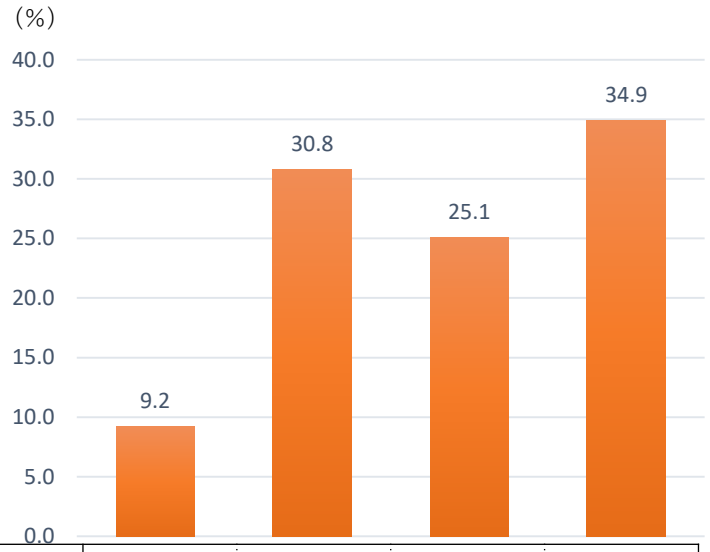
		全体	仕事や収入などの課題解決の施策が必要	地方創生のために、推進していくべきだと思う	自分自身も移住したいと思う	企業誘致など別の方法が必要	子育てが心配	興味がない	その他
全　体		985	44.0	24.0	19.7	13.5	10.9	33.5	0.9
性別	男性	585	42.1	25.6	24.3	13.0	9.1	34.0	0.7
	女性	400	46.8	21.5	13.0	14.3	13.5	32.8	1.3
年代	20代	94	34.0	28.7	19.1	16.0	12.8	31.9	-
	30代	167	48.5	20.4	22.8	11.4	20.4	29.9	1.2
	40代	225	44.4	20.9	22.2	14.7	10.2	33.8	0.4
	50代	235	48.1	22.6	19.6	10.6	9.4	34.0	0.4
	60代	179	40.2	26.8	15.1	15.1	6.1	34.6	1.7
	70代以上	85	41.2	31.8	17.6	16.5	5.9	37.6	2.4
居住区分	一人暮らし	193	37.8	24.9	27.5	13.0	4.7	34.7	1.0
	夫婦と子供	229	47.2	22.3	20.5	16.6	14.0	32.3	-
	夫婦のみ	207	45.9	23.2	16.4	11.1	5.8	34.8	2.4
	3世帯以上	356	44.1	25.0	16.9	13.2	15.2	32.9	0.6

Q6　住宅売買または賃貸の際に、実際にリノベーションに関する検討をしたことがありますか。（１つ選択）

■「興味がない」34.9％
■「ない」30.8％／「ないけど興味がある」25.1％

◆　「ある」と答えたのは9.2％と1割に満たなかったが、約四分の一にあたる25.1％が「ないけど興味はある」と回答。
◆　半数以上は「ない」あるいは「興味がない」と回答しており、まだまだ普及はしていない現状。
◆　女性よりも男性の方が検討したことがある割合が高い結果となっている

＜住宅売買または賃貸の際に、実際にリノベーションに関する検討の経験＞



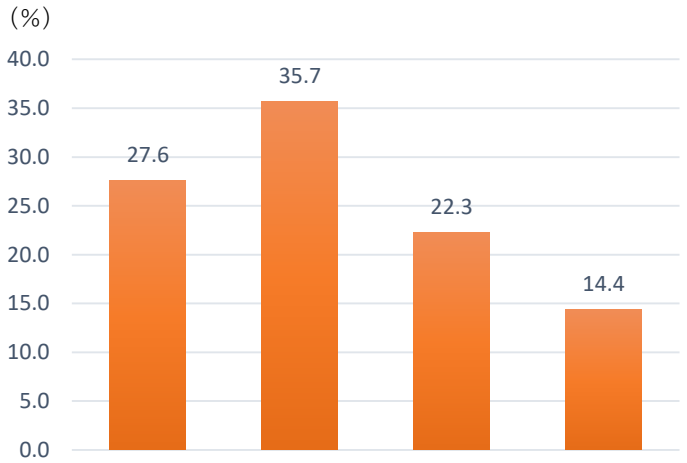
		全体	ある	ない	ないけど興味がある	興味がない
全　体		2400	9.2	30.8	25.1	34.9
性別	男性	1418	10.6	31.9	24.1	33.4
	女性	982	7.2	29.1	26.5	37.2
年代	20代	183	7.1	29.0	30.6	33.3
	30代	344	11.0	25.0	29.4	34.6
	40代	565	8.0	26.5	27.8	37.7
	50代	622	8.8	29.9	24.0	37.3
	60代	461	11.5	34.5	20.4	33.6
	70代以上	225	7.6	46.7	20.0	25.8
居住区分	一人暮らし	600	8.3	29.3	24.2	38.2
	夫婦と子供	600	11.0	29.2	24.7	35.2
	夫婦のみ	600	8.0	35.0	24.8	32.2
	3世帯以上	600	9.5	29.7	26.7	34.2

Q7　住居を選ぶ際にリノベーション済みの戸建てやマンション、アパートへの抵抗はありますか。（１つ選択）

■「全く抵抗ない」27.6％／「少し抵抗はあるが、検討できる」35.7％
■「できれば検討したくない」22.3％

◆　「全く抵抗がない」が27.6％、「少し抵抗はあるが、検討できる」が35.7％と半数以上が抵抗がないことがわかった。
◆　年代別では特に20代、40代がリノベーション済みの物件に対して前向きである一方で、30代は「絶対に検討したくない割合が16.6％と全年代で最も高かった。
◆　居住区分では、一人暮らしが最も「全く抵抗ない」の割合が高かった。

＜住居を選ぶ際にリノベーション済みの戸建てやマンション、アパートへの抵抗はあるか ＞



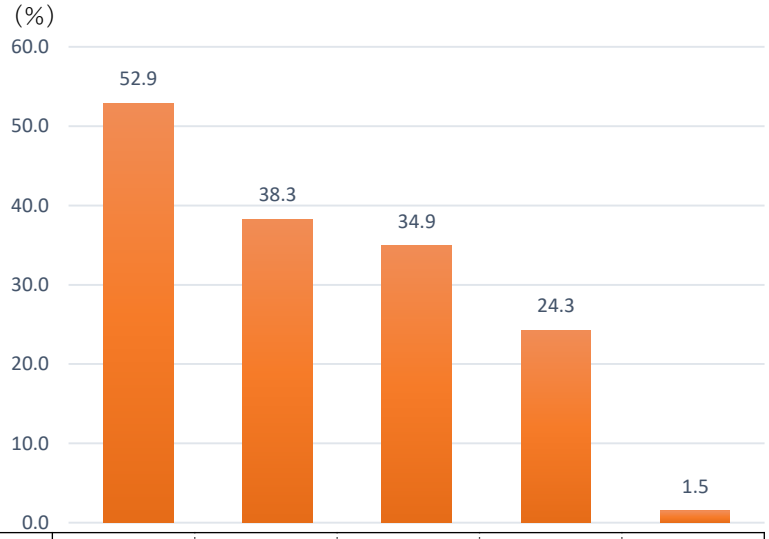
		全体	全く抵抗ない	少し抵抗はあるが、検討できる	できれば検討したくない	絶対に検討したくない
全　体		2400	27.6	35.7	22.3	14.4
性別	男性	1418	29.5	34.1	22.2	14.2
	女性	982	24.9	38.1	22.4	14.6
年代	20代	183	29.0	41.5	18.6	10.9
	30代	344	24.7	36.9	21.8	16.6
	40代	565	29.0	36.5	20.0	14.5
	50代	622	28.9	35.2	22.2	13.7
	60代	461	26.7	33.2	23.9	16.3
	70代以上	225	25.8	33.8	28.9	11.6
居住区分	一人暮らし	600	34.7	32.7	18.0	14.7
	夫婦と子供	600	26.5	38.8	21.5	13.2
	夫婦のみ	600	25.2	36.8	25.2	12.8
	3世帯以上	600	24.2	34.5	24.5	16.8

Q8　空き家問題についてどう思いますか。当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

■「賃貸や売却物件として活用して欲しい」52.9％
■「取り壊して更地にし、土地活用して欲しい」38.3％
■「店舗や民泊活用などで地域の活性化に役立てて欲しい」34.9％

◆　「賃貸や売却物件として活用して欲しい」が52.9％と最も多く挙げられ、次いで「取り壊して更地にし、土地活用して欲しい」が38.3％、「店舗や民泊活用などで地域の活性化に役立てて欲しい」が34.9％となっており、具体的な活用ニーズがわかった。
◆　年代別では「企業などビジネスで活用して欲しい」は若い世代ほど高くなる傾向がみられた。

＜空き家問題についてどう思うか＞



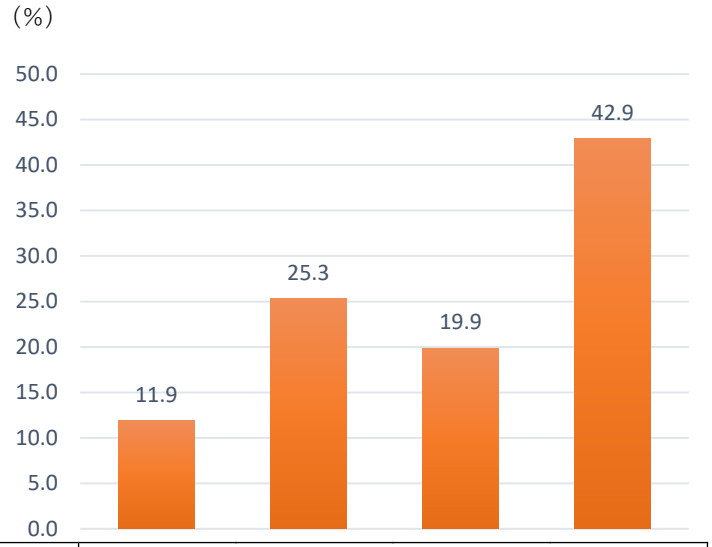
		全体	賃貸や売却物件として活用して欲しい	取り壊して更地にし、土地活用して欲しい	店舗や民泊活用などで地域の活性化に役立てて欲しい	企業などビジネスで活用して欲しい	その他
全　体		2400	52.9	38.3	34.9	24.3	1.5
性別	男性	1418	52.7	37.5	34.1	23.6	1.8
	女性	982	53.2	39.4	36.0	25.5	1.1
年代	20代	183	54.1	33.9	41.0	33.3	-
	30代	344	54.4	40.7	40.4	29.7	1.2
	40代	565	56.3	39.1	33.3	23.7	0.9
	50代	622	53.2	37.8	34.2	23.6	1.9
	60代	461	48.6	39.3	31.0	23.0	2.6
	70代以上	225	48.9	35.6	35.1	15.1	1.8
居住区分	一人暮らし	600	55.8	39.5	34.0	25.2	2.8
	夫婦と子供	600	54.5	35.8	36.2	26.5	1.3
	夫婦のみ	600	52.0	37.3	33.2	20.7	1.5
	3世帯以上	600	49.2	40.5	36.2	25.0	0.5

Q9　「空き家バンク」をご存知ですか。（１つ選択）

■「知っている」11.9％
■「聞いたことあるが、詳しく知らない」25.3％／「名前だけ聞いたことがある」19.9％

◆　「知っている」と答えたのは11.9％にとどまり、「知らない」が42.9％と最も多く挙げられ、次いで「聞いたことあるが、詳しく知らない」が25.3％、「名前だけ聞いたことがある」が19.9％。
◆　「知っている」と答えた20代は15.3％、30代は14.0％と他の年代よりも割合が高くなっている。
◆　一人暮らしは「知らない」が48.0％で全体の結果を上回った。

＜「空き家バンク」の認知＞



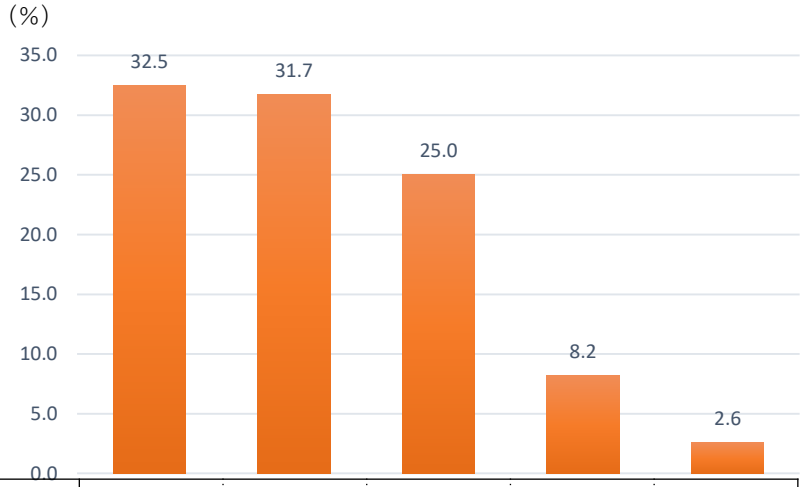
		全体	知っている	聞いたことあるが、詳しく知らない	名前だけ聞いたことがある	知らない
全　体		2400	11.9	25.3	19.9	42.9
性別	男性	1418	12.6	25.7	20.0	41.7
	女性	982	10.9	24.7	19.7	44.7
年代	20代	183	15.3	21.3	18.0	45.4
	30代	344	14.0	24.4	18.9	42.7
	40代	565	11.0	23.5	19.3	46.2
	50代	622	11.6	24.1	21.4	42.9
	60代	461	12.4	27.8	19.5	40.3
	70代以上	225	8.0	32.9	20.9	38.2
居住区分	一人暮らし	600	12.2	19.7	20.2	48.0
	夫婦と子供	600	11.0	25.7	19.3	44.0
	夫婦のみ	600	11.8	29.0	18.8	40.3
	3世帯以上	600	12.5	27.0	21.2	39.3

Q10　「空き家バンク」について、どのように思いますか。最もあてはまるものをお選びください。（１つ選択）

■「もっと情報発信して欲しい」32.5％
■「もっとメリットを充実させて欲しい」31.7％
■「不動産業者が関与して、安心できる物件を登録して欲しい」25.0％

◆　「もっと情報発信して欲しい」が32.5％と最も多く挙げられ、次いで「もっとメリットを充実させて欲しい」が31.7％、「不動産業者が関与して、安心できる物件を登録して欲しい」が25.0％となっている。「空き家バンク」の認知度が低い一方で、空き家問題に対する課題意識が高いことがうかがえる。
◆　年代別では「もっと情報発信して欲しい」は60代以上が高い傾向がみられる。

＜「空き家バンク」についてどう思うか＞



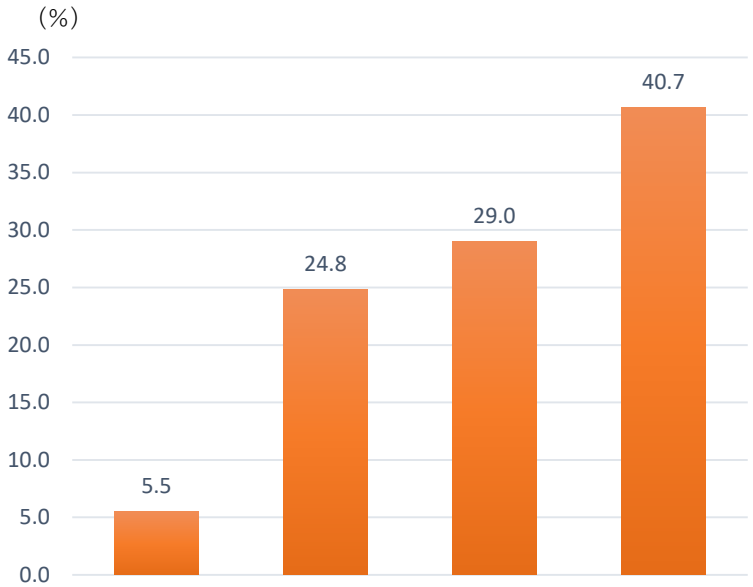
		全体	もっと情報発信して欲しい	もっとメリットを充実させて欲しい	不動産業者が関与して、安心できる物件を登録して欲しい	登録物件を増やして欲しい	その他
全　体		2400	32.5	31.7	25.0	8.2	2.6
性別	男性	1418	33.6	31.2	22.6	9.4	3.2
	女性	982	31.0	32.5	28.4	6.4	1.7
年代	20代	183	34.4	32.2	25.7	7.1	0.5
	30代	344	29.1	33.1	27.6	9.3	0.9
	40代	565	31.0	32.7	25.1	9.9	1.2
	50代	622	30.5	32.2	27.7	7.4	2.3
	60代	461	37.3	29.3	21.5	6.7	5.2
	70代以上	225	36.0	30.2	20.0	8.0	5.8
居住区分	一人暮らし	600	33.3	29.8	26.0	7.7	3.2
	夫婦と子供	600	30.7	32.2	25.2	9.2	2.8
	夫婦のみ	600	32.5	31.8	23.8	8.5	3.3
	3世帯以上	600	33.7	33.0	25.0	7.3	1.0

Q11　「空き家バンク」について、将来住まいとして検討したいと思いますか。（１つ選択）

■「是非検討したい」5.5％／「検討しても良い」24.8％
■「検討しない」29.0％

◆　空き家バンクの将来的な利用について「是非検討したい」と答えたのは5.5％にとどまり、「検討してもよい」と答えたのは24.8％。全体の約3割が前向きな回答となった。
◆　年代別でみると「是非検討したい」、「検討しても良い」と答えているのは若い世代ほど高い傾向。
◆　「検討しない」は年代があがるにつれ割合が高く、活用は若い世代からになると思われる。

＜「空き家バンク」を将来住まいとして検討したいと思うか＞



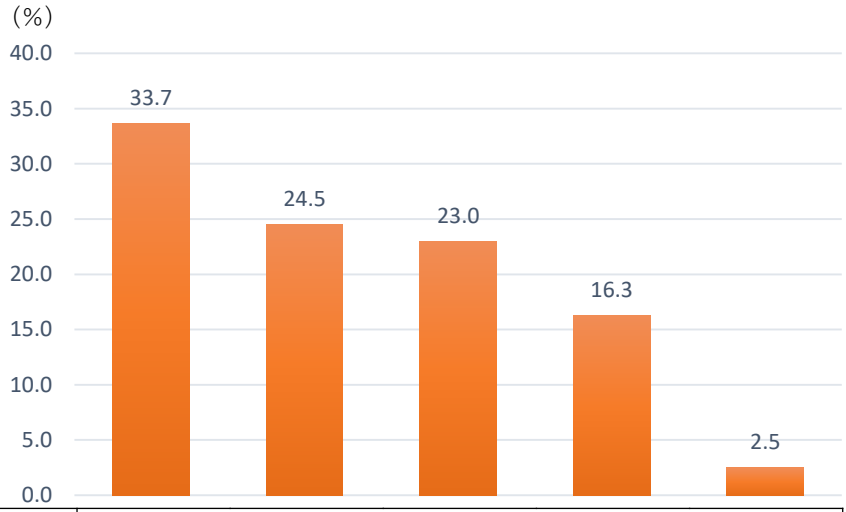
		全体	是非検討したい	検討しても良い	検討しない	わからない
全　体		2400	5.5	24.8	29.0	40.7
性別	男性	1418	6.6	26.3	29.2	37.9
	女性	982	4.0	22.6	28.6	44.8
年代	20代	183	9.3	27.3	20.8	42.6
	30代	344	7.8	27.3	25.6	39.2
	40代	565	7.1	26.9	25.8	40.2
	50代	622	4.2	23.8	28.3	43.7
	60代	461	3.7	22.1	35.8	38.4
	70代以上	225	2.7	21.8	36.4	39.1
居住区分	一人暮らし	600	5.3	29.3	26.5	38.8
	夫婦と子供	600	8.0	23.8	28.5	39.7
	夫婦のみ	600	2.8	22.8	32.3	42.0
	3世帯以上	600	6.0	23.2	28.5	42.3

Q12　既存住宅売買の際のインスペクションが注目されています。インスペクションによって、どのような効果があると思いますか。
最も効果があると思うものをお選びください。（１つ選択）

■「安心して住み続けるための診断ができる」33.7％
■「リフォームの必要性や、規模を確認することができる」24.5％
■「安心して売買ができる」23.0％

◆　「安心して住み続けるための診断ができる」が最も多く挙げられ、特に20代、70代以上では4割を超えている。
◆　「リフォームの必要性や、規模を確認することができる」は年代が上がるにつれ高い傾向にあり、リフォームにあたっての具体的な検討に活用されやすいと思われる。

＜インスペクションによって、どのような効果があると思うか＞



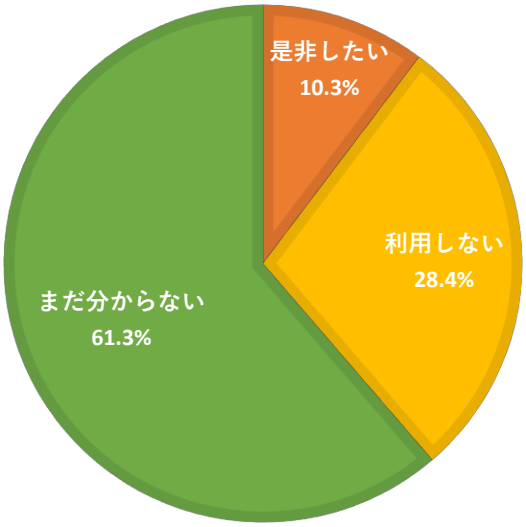
		全体	安心して住み続けるための診断ができる	リフォームの必要性や、規模を確認することができる	安心して売買ができる	減税やローンなどの控除を受けることができる	その他
全　体		2400	33.7	24.5	23.0	16.3	2.5
性別	男性	1418	31.1	25.2	23.9	16.6	3.1
	女性	982	37.5	23.3	21.6	15.9	1.7
年代	20代	183	40.4	16.4	27.3	15.3	0.5
	30代	344	34.0	19.8	23.3	22.7	0.3
	40代	565	30.1	22.5	24.4	21.9	1.1
	50代	622	33.3	24.0	24.9	14.8	3.1
	60代	461	32.3	32.1	19.7	10.6	5.2
	70代以上	225	40.9	28.9	16.4	9.3	4.4
居住区分	一人暮らし	600	32.0	22.3	25.0	16.7	4.0
	夫婦と子供	600	36.5	23.5	23.3	14.8	1.8
	夫婦のみ	600	35.5	28.8	18.8	14.3	2.5
	3世帯以上	600	30.8	23.2	24.7	19.5	1.8

Q13　今後インスペクションを利用する可能性はありますか。（１つ選択）

■「是非したい」10.3％
■「利用しない」28.4％／「まだ分からない」61.3％

◆　今後インスペクションを利用する可能性について、「是非したい」と回答したのは10.3％にとどまった。若い年代ほど前向きであり、年代が高いほど利用には後ろ向きであることがわかった。
◆　「まだ分からない」が61.3％と最も多く、制度自体の具体的な利用イメージができていない可能性。

＜今後インスペクションを利用する可能性＞



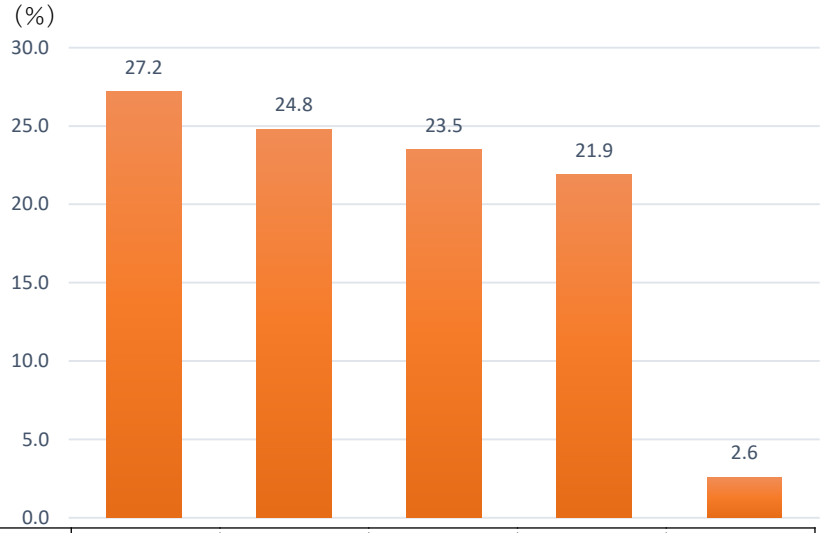
		全体	是非したい	利用しない	まだ分からない
全　体		2400	10.3	28.4	61.3
性別	男性	1418	11.4	30.9	57.7
	女性	982	8.7	24.8	66.5
年代	20代以下	183	17.5	18.6	63.9
	30代	344	14.2	25.6	60.2
	40代	565	11.5	26.9	61.6
	50代	622	8.0	25.6	66.4
	60代	461	8.0	35.6	56.4
	70代以上	225	6.2	37.8	56.0
居住区分	一人暮らし	600	9.7	26.7	63.7
	夫婦と子供	600	13.5	29.2	57.3
	夫婦のみ	600	6.2	32.2	61.7
	3世帯以上	600	11.8	25.7	62.5

Q14　2018年4月にスタートした「安心R住宅」制度の導入により、どのような効果があると思いますか。最も効果があると思うものをお選びください。（１つ選択）

■「基礎的な品質が保証され安心」27.2％
■「安心して安く購入でき、将来の住み替えなど検討しやすい」24.8％
■「リフォームによりきれいな中古物件が増える」23.5％

◆　「基礎的な品質が保証され安心」が27.2％と最も多く挙げられ、次いで「安心して安く購入でき、将来の住み替えなど検討しやすい」が24.8％と、ともに安心材料となることがわかった。
◆「リフォームによりきれいな中古物件が増える」が23.5％と期待もみてとれる。

＜「安心R住宅」制度の導入により、どのような効果があると思うか＞



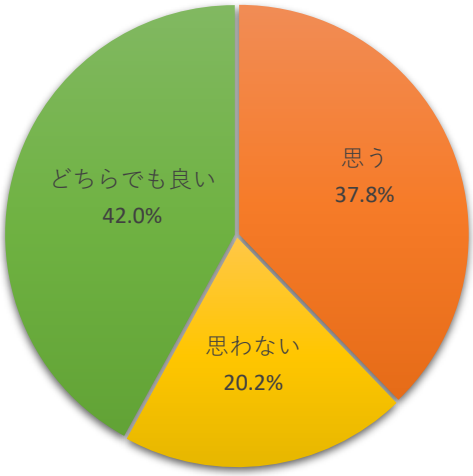
		全体	基礎的な品質が保証され安心	安心して安く購入でき、将来の住み替えなど検討しやすい	リフォームによりきれいな中古物件が増える	情報が開示され、検討しやすい	その他
全　体		2400	27.2	24.8	23.5	21.9	2.6
性別	男性	1418	28.4	24.2	22.0	22.1	3.2
	女性	982	25.5	25.7	25.6	21.6	1.7
年代	20代	183	25.1	26.8	22.4	25.7	-
	30代	344	25.0	29.7	24.1	20.9	0.3
	40代	565	26.0	26.5	26.2	19.8	1.4
	50代	622	28.8	24.6	21.9	22.2	2.6
	60代	461	26.9	22.1	22.1	22.8	6.1
	70代以上	225	31.6	17.3	23.6	23.1	4.4
居住区分	一人暮らし	600	26.8	24.3	22.8	22.0	4.0
	夫婦と子供	600	29.2	25.0	25.0	18.8	2.0
	夫婦のみ	600	29.5	24.0	20.2	23.8	2.5
	3世帯以上	600	23.3	25.8	25.8	23.0	2.0

Q15　もし既存住宅を購入するとしたら「安心R住宅」表記の物件を選びたいと思いますか。（１つ選択）

■ **「思う」37.8％／「思わない」20.2％**
■ **「どちらでも良い」42.0％**

◆　「思う」と答えたのは37.8％と約4割にとどまった。年代が上がるにつれその傾向が強くなっている。
◆　「どちらでも良い」が42.0％と最も多かった。
まだ安心R住宅に対する理解が不足しているものと思われる。

＜既存住宅購入の際、「安心R住宅」表記の物件を選びたいと思うか＞



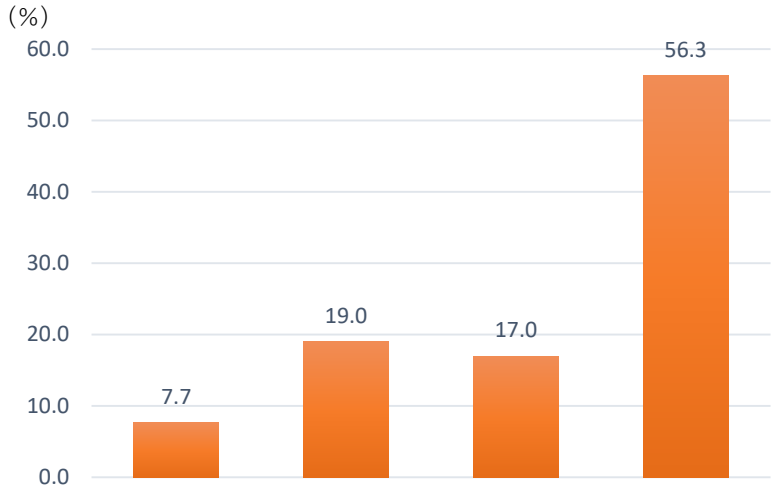
		全体	思う	思わない	どちらでも良い
全　体		2400	37.8	20.2	42.0
性別	男性	1418	39.0	21.7	39.3
	女性	982	36.0	18.0	45.9
年代	20代	183	31.7	15.3	53.0
	30代	344	34.9	22.4	42.7
	40代	565	36.3	20.2	43.5
	50代	622	36.5	18.5	45.0
	60代	461	40.8	23.2	36.0
	70代以上	225	48.4	19.6	32.0
居住区分	一人暮らし	600	37.0	20.0	43.0
	夫婦と子供	600	38.0	21.0	41.0
	夫婦のみ	600	40.3	19.3	40.3
	3世帯以上	600	35.8	20.5	43.7

Q16　長期優良住宅化リフォーム減税を知っていますか。（１つ選択）

■「知っている」7.7%
■「聞いたことはあるが内容は知らない」19.0%
■「聞いたことはないが興味がある」17.0%

◆　「知っている」と回答したのは7.7%にとどまり、「聞いたことはあるが内容は知らない」は19.0%と制度自体の理解がまだ不足している結果となった。
◆　男女別では比較的男性の方が理解と興味関心が高い結果となった。

＜長期優良住宅化リフォーム減税の認知＞



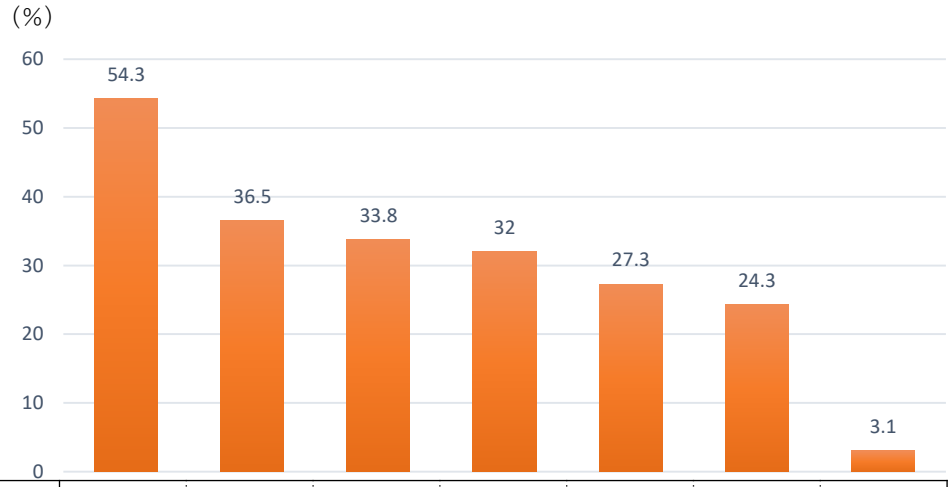
		全体	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことはないが興味がある	聞いたことがない
全　体		2400	7.7	19.0	17.0	56.3
性別	男性	1418	8.9	19.8	17.2	54.1
	女性	982	5.9	17.8	16.8	59.5
年代	20代	183	7.1	17.5	16.4	59.0
	30代	344	9.3	20.3	16.0	54.4
	40代	565	8.5	19.5	15.8	56.3
	50代	622	7.6	16.6	16.7	59.2
	60代	461	6.7	19.3	19.3	54.7
	70代以上	225	5.8	23.1	18.7	52.4
居住区分	一人暮らし	600	7.7	15.0	14.0	63.3
	夫婦と子供	600	9.7	20.7	17.3	52.3
	夫婦のみ	600	5.3	19.0	18.3	57.3
	3世帯以上	600	8.0	21.3	18.5	52.2

Q17　IoT住宅において、どのような仕組みやジャンルに魅力を感じますか。（複数選択可）

■「防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ」54.3％
■「太陽光発電や蓄電池などのエネルギーの制御やコントロール」36.5％
■「玄関ドアや窓、シャッターの遠隔操作」33.8％

◆　「防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ」が54.3％と最も多く挙げられ、次いで「太陽光発電や蓄電池などのエネルギーの制御やコントロール」が36.5％、「玄関ドアや窓、シャッターの遠隔操作」が33.8％となっている。
◆　年代別では「防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ」は20代を除いて年代があがるにつれ、高くなっている。「スマートフォンやスマートスピーカーによる室内設備や家電の遠隔操作」は若い世代程高くなっている。

＜ IoT住宅の仕組みやジャンルで魅力を感じる点＞



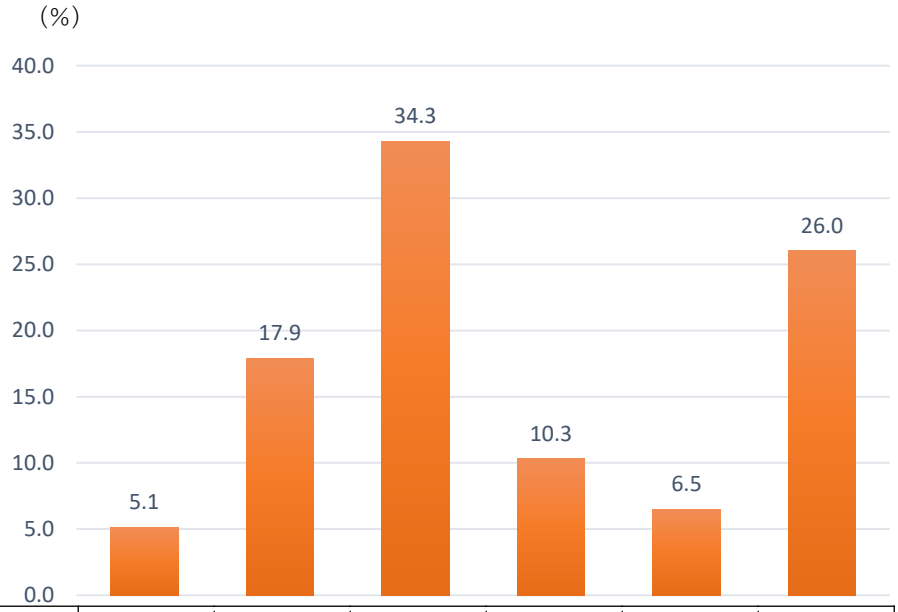
		全体	防犯カメラやインターフォンなどセキュリティ	太陽光発電や蓄電池などのエネルギーの制御やコントロール	玄関ドアや窓、シャッターの遠隔操作	スマートフォンやスマートスピーカーによる室内設備や家電の遠隔操作	宅配ボックスとの連動によるスマートフォンへの通知	センサーや音声認識による家電の自動制御	その他
全　体		2400	54.3	36.5	33.8	32	27.3	24.3	3.1
性別	男性	1418	52.1	38.2	33.6	31.3	25	25.5	4.2
	女性	982	57.4	34.1	34.2	33	30.4	22.6	1.6
年代	20代	183	50.3	32.2	37.2	39.9	28.4	22.4	-
	30代	344	48.3	37.8	34.9	36.6	36.3	26.7	0.3
	40代	565	50.3	37.7	34.3	35.9	29.6	24.1	1.6
	50代	622	55.3	38.6	33.6	30.5	28.3	24.6	3.7
	60代	461	60.5	33.8	31.7	26.7	20.8	24.1	6.7
	70代以上	225	61.3	35.1	33.3	23.6	16.9	22.7	4.9
居住区分	一人暮らし	600	49.5	33.8	34	30.3	30.8	24.8	4.5
	夫婦と子供	600	52.8	38.2	34.3	35.7	26.5	25.8	2.8
	夫婦のみ	600	60.7	34	32.5	28.8	23.8	22.3	4
	3世帯以上	600	54.2	40.2	34.5	33.2	27.8	24.3	1.2

Q18　IoT住宅は、何年後主流になると思いますか。（１つ選択）

■最多は「10年後」34.3％
■「主流にならない」26.0％

◆　「10年後」が34.3％と最も多く挙げられ、次いで「5年後」17.9％、「20年後」10.3％と続く。
まだ主流になるのは早いとの見方が多数と見受けられる。
◆　「主流にならない」は26.0％で、70代以上と一人暮らしがもっとも高くなっている。

＜IoT住宅は、何年後主流になると思うか＞



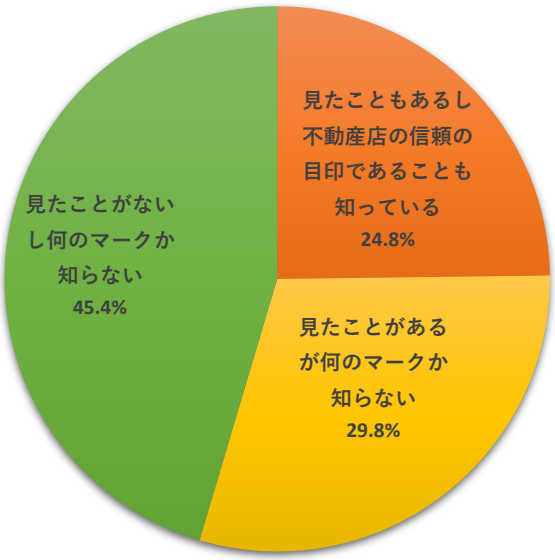
		全体	3年後	5年後	10年後	20年後	それ以上	主流にならない
全　体		2400	5.1	17.9	34.3	10.3	6.5	26.0
性別	男性	1418	5.1	19.6	33.9	9.0	6.0	26.4
	女性	982	5.1	15.5	34.8	12.1	7.2	25.3
年代	20代	183	6.6	23.0	33.9	8.7	5.5	22.4
	30代	344	7.6	17.2	35.8	10.8	3.5	25.3
	40代	565	5.5	18.2	32.2	9.2	8.1	26.7
	50代	622	5.0	16.9	32.0	13.2	7.1	25.9
	60代	461	3.3	17.6	38.0	7.8	6.9	26.5
	70代以上	225	3.1	17.8	36.0	10.7	5.3	27.1
居住区分	一人暮らし	600	4.7	19.0	32.3	10.0	4.3	29.7
	夫婦と子供	600	4.7	20.3	34.2	9.7	6.2	25.0
	夫婦のみ	600	4.2	15.3	37.3	10.5	7.5	25.2
	3世帯以上	600	6.8	17.0	33.2	11.0	8.0	24.0

Q19　安全な不動産取引ができるお店の証、ハトマークを知っていますか。（１つ選択）

■「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」24.8％

◆　「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」が24.8％と約四分の一。
◆　「見たことがあるが何のマークか知らない」が29.8％と合わせて半数以上はハトマークを認知している。
◆　最も認知が高いのは40代で28.8％、20代は14.8％にとどまっている。

＜ハトマークの認知＞



		全体	見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている	見たことがあるが何のマークか知らない	見たことがないし何のマークか知らない
全　体		2400	24.8	29.8	45.4
性別	男性	1418	26.2	27.9	45.9
	女性	982	22.7	32.7	44.6
年代	20代	183	14.8	26.8	58.5
	30代	344	24.7	35.8	39.5
	40代	565	28.8	31	40.2
	50代	622	27.5	27.8	44.7
	60代	461	23.4	27.8	48.8
	70代以上	225	18.2	30.2	51.6
居住区分	一人暮らし	600	24.3	29.7	46
	夫婦と子供	600	28.2	28	43.8
	夫婦のみ	600	23.7	28.5	47.8
	3世帯以上	600	23	33.2	43.8